

上尾歴史散歩

274

市制施行55周年特別企画

上尾サイクル紀行 ⑩

瓦葺～伊奈町へ

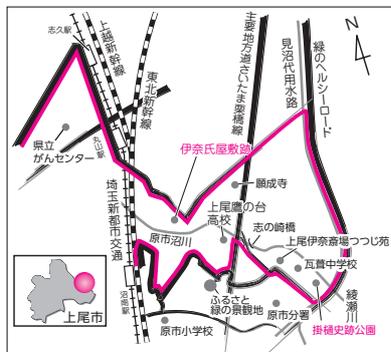
「上尾サイクルマップ」で訪ねる郷土の歴史



長い歴史のある志の崎橋

サイクリングコースは、古代蓮で知られる原市沼から埼玉新都市交通（ニューシャトル）沼南駅に戻る。上尾鷹の台高校と原市ふるさと緑の景観地の間を抜け、主要地方道さいたま栗橋線の原市東の交差点を渡り、瓦葺ふれあい広場を経て掛樋史跡公園に至るが、途中でコースを外れ迂回してみる。原市東の交差点を渡り、左折して少し進むと原市沼川に架かる原市沼橋に並び、欄干のない志の崎橋という珍しい橋がある。主要地方道さいたま栗橋線開通よりも前にできたこの橋の橋台と橋脚は現在はコンクリート製だが、建設当初は木製だった。志の崎橋のあたりから原市沼側の上尾市側と伊奈町側の両岸には、散歩道が整備されているので広大な原市沼の昔

を想像しながら掛樋史跡公園まで行くのもよいだろう。唯一上尾市内に水源を持つ原市沼川は、掛樋史跡公園手前で綾瀬川に合流して姿を消す。掛樋史跡公園は昔、見沼代用水が綾瀬川の上を掛樋によつて立体交差していた場所に隣接する。掛樋は鉄製の樋とれんが造りの下部工による水路橋で、明治41（1908）年に完成したものであり、それまでは木製だった。今でもれんがの一部が残っている。現在は昭和35年にコンクリートで改修され、送水方式が伏越（パイプで川の下を潜る方式）に変わっている。瓦葺伏越と呼ばれ、掛樋跡の10ほど上流にある。公園は散策する人たちの恰好の休憩所のようなであり、取材時にもいろいろな話を聞くことができた。近くの立合い橋で綾瀬川を越え、見沼代用水沿いに緑のヘルシーロードを2キロほど走り、御前橋を左折して蓮田新道に出る。しばらく走ると道は大きく右に曲がり、伊奈町指定文化財の伊奈熊蔵忠勝（伊奈氏三代目）の墓のある願成寺がある。曲がり道で蓮田新道から別れて直進し、原市沼川の境橋（現在は仮橋）の手前を右折すると埼玉県指定史



跡の伊奈氏屋敷跡（初代関東郡代伊奈熊蔵忠次の陣地跡）がある。コースは裏門跡を過ぎ、新幹線下をくぐって、ニューシャトル丸山駅から新幹線下を走り、志久駅で左折し、県道上尾蓮田線の小室無線入口の信号まで走る。次号はここから平塚を経由して上平方面に進みたい。（ぐるっとサイクリング同好会・川島一郎）



当時のれんがが今も残る瓦葺の掛樋



アッピーを探そう！

右のアッピーが登場するのは？ページ



【賞品】 正解者の中から抽選で5人に、粗品を差し上げます。

【応募方法】 はがきかメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、『広報あげお』の感想を記入して、1月20日（月）まで（必着）に上尾市広報課「わくわくクイズ係」へ。

あて先：〒362-8501本町3-1-1
メールアドレス：s55000@city.ageo.lg.jp

【発表】 賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 ※正解は2月号のこのコーナーで。前号の答えは「26」でした。ご応募ありがとうございました（応募者45人）。

市の人口・世帯

（平成25年12月1日現在）

22万8,098人

男／11万3,617人

女／11万4,481人

※前月より29人減。

9万5,328世帯